2022 BRM604 野辺山600 事前認定試走レポート

AJたまがわ 伊地知
2022年5月26日

今回副担当をやってくださることになった高木さんと5月22日6時スタートで事前認定試走に行ってきました。レポートとしてまとめておきます。

試走はその日程を選べることがメリットにあり（笑）、この日は晴れ予報。しかし実際には夜中の長野でがっつり雨に降られ、主催力の低さを見せつけました。いわゆる禊ぎを済ませたというもので、おそらく当日は好天でしょう。[1]

二子玉川発の600kmは鬼怒川600が定番となっていましたが、今年は新コースで開催することになりました。鬼怒川600が標高1000m以下の登りをいくつも越えていくのに対し、野辺山600は標高1000mを超える登りが三つと、趣向の異なる600kmになっています。手元のGarmin Edge 530では獲得標高は5800mでした。鬼怒川600が4800m、野辺山600が5800mです。

[1] オマージュ
https://ajtamagawa.org/wordpress/wp-content/uploads/2018/05/2018BRM602_report_zenri.pdf

参考までに各コントロールの通過時刻を掲載しておきます（C3津南、C5小諸、C6野辺山、C7笹子峠は制限時間がありませんので仮想クローズに対しての数字です）。試走隊は長野で宿を取りました。

	地点名	クローズ	通過時刻	貯金
Start	兵庫島公園		06:00	
C1	青梅	09:12	08:24	+0h48
C2	高崎	14:12	12:31	+1h41
C3	津南	22:40	20:08	+2h32
C4	長野	03:20	00:49	+2h31
C5	小諸	07:20	07:35	-0h15
C6	野辺山	10:40	10:52	-0h12
C7	笹子峠	15:32	15:39	-0h07
C8	相模原	18:36	17:59	+0h37
Finish	世田谷	22:00	21:36	+0h24

タイムは39h36でした。向かい風や雨の影響で思うように進まず、二日目は借金返済を目指して時間を気にしながら野辺山や笹子峠に向かうことになりました。古よりAJたまがわに伝わる教えとして「自分が完走できないコースを引くな」というのがあり、結構ヒヤヒヤものでした。

Start～C1青梅～C2高崎

二子玉川を出発して、いつもの道で青梅、そして高崎へ向かいます。C2高崎までは数年前に開催された白馬・木崎湖300と同じです。

C2高崎～C3津南

C2を出た後は利根川を渡り、高崎から渋川街道で北へ。緩やかな登り基調になります。試走の際は向かい風が強くて思うように進まず、高崎以降で時間を稼いでいこうという当てが外れてしまいました。C2の次は赤谷湖のローソンで休憩する予定でしたが、そこまで持たず、月夜野のセブンイレブンで休憩することにしました。群馬といえば上州空っ風ですので、仕方ないと思って諦めるしかありません。

三国峠は長い登りです。赤谷湖に向けてやや斜度の上がるところもありますが、猿ヶ京温泉の温泉街を過ぎると登りはマイルドになり、3～4%の斜度で少しずつ標高を上げていきます。

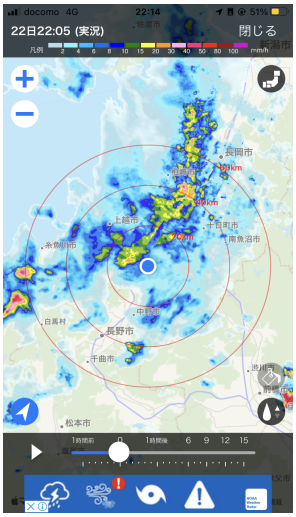
三国トンネルは先日新しいトンネルが開通しました。旧トンネルと比較すると随分走りやすくなりました。

トンネルを出ると新潟県に入ります。遠くまで来たなぁという感慨に浸りましょう。ここからは30km以上に渡る長い下りになります。特に注意していただきたいのが、下りの途中にあるトンネルです。路面が悪く非常に走り辛いです。トンネル内は狭く逃げ場がないので、車に注意しつつ安全第一で通過してください。

石打まで下ると今度は十二峠の登りに入ります。途中、工事で片側交互通行になっている区間があります。が、やたら長い区間かつ登りの途中なので、自転車では青信号の間に通過するのは大変です。他の交通の様子を見て上手くやり過ごしてください。

<u>C3津南～C4長野</u>

試走隊は事前に宿を予約せずにスタートしましたが、C3津南で休憩しているときに長野のホテルを予約しました。仮眠をするなら長野か上田が候補になると思いますが、それほどペースが上がっていなかったということもあって長野にしました。



津南から長野までは平坦区間のように見えて小さなアップダウンが連続しますが、信号はほとんどなく、貯金を増やしていく時間になると思います。

試走の際は、C3を出てしばらくすると急に雨が降り出しました。まったくの想定外。トンネルに避難してレインウェアを着込んで走行継続。さらに途中の道の駅野沢温泉に逃げ込んで雨雲レーダーを確認しますが、雨から逃れる方法はなさそうです。雨脚は強くなるばかりで、雷もピカピカと光り、なかなかの恐怖でした。

そんなこともあってC4長野には計画から遅れて到着。貯金もまったく増えませんでした。寒い上に延々と雨に打たれて、上田まで走ろうという気力はなかったので、長野に宿を取っておいて正解でした。初日はここまで。320kmの長野の時点で獲得標高は3200mでした。

C4長野で買い物をした後、近くのセレクトイン長野へ。1時にホテルに到着、4時20分まで休憩しました。二日目に野辺山、笹子峠が控えていることを考えると、あまり借金を背負いたくありませんが、しっかり寝ておかないと走れないだろうということで、C4長野のクローズ時刻に対してちょうど一時間の借金を背負うところまで休憩することにしました。

C4長野～C5小諸
予定通り4時20分に二日目の出発。長野から上田まではほぼ平坦です。上田で宿を取る方もいるだろうということで上田駅前を通るコースにしていますが、駅前に用はないという方はそのまま国道18号を直進してもかまいません。どちらに行っても時間的には大差ないと思います。

C5小諸～C6野辺山
小諸からはこの600kmのハイライトとなる野辺山に向けて登っていきます。とはいっても、野辺山への登りは1～3%ぐらいの斜度がほとんどです。小海町役場から南牧村との境までと、佐久海ノ口駅の先のカーブが連続するところ（市場坂というそうです）の二ヶ所が斜度の上がる区間です。

市場坂を登り切ると眼前に八ヶ岳の雄大な風景が広がり、右手に八ヶ岳を見ながら野辺山駅方面へ。

C6野辺山ではJR鉄道最高地点の写真を撮ってください。踏切を渡った方に石碑がありますが、どちらでもかまいません。JR野辺山駅とJR鉄道最高地点は別の場所ですので注意。

C6野辺山～C7笹子峠

甲府までは長い長い下りです。スピードも出ます。安全第一で下りましょう。試走隊は野辺山から下りてきて、甲斐市のコンビニで休憩しました。二日目に出発するときの一時間の借金にはやや不安もあったのですが、この時点でなんとか時間内に間に合う目処は立ったかな～という感じでした。

笹子峠に向けては峠のかなり前から登り始めます。コース沿いにセブンイレブンやデイリーヤマザキがあるあたりからずっと登りで、C7までは15kmほどの登りになります。特に国道20号と重複する区間は交通量が多くて気を使うので一番しんどいかもしれません。大和橋西詰を右折するとほとんど車が通ることはありません。

笹子峠の写真は恩賜林の看板、トンネル前の大月市の標識、どちらでもかまいません。

C7笹子峠～C8相模原
試走隊はC7笹子峠を仮想クローズに対して15分ほどの借金で出発しました。次のC8は制限時間ありなので時間が気になるところですが、笹子峠からはほぼ下りですので少々の借金はすぐに返済できます。

笹子峠の下りの途中に矢立の杉という立派な杉があります。時間に余裕があればぜひ。

C8相模原～Finish世田谷
相模湖畔を通って、いつものルートで世田谷まで帰ってきます。試走の際は尾根幹に入る前に雨が降り出し、レインウェアを着たりしていたので、結局ぎりぎりのゴールになってしまいました。

一通り走ってみると、鬼怒川600に獲得標高を1000m分プラスしているので、やっぱりその分だけ時間はかかるなぁという印象です。とはいえ、長い下りで時間を取り戻せるので、登りで少々時間がかかっても大丈夫なはず。また、雪国で路面が悪い箇所も多いので、振動対策をしておくと有効だと思います。

事前認定試走では両日とも雨に降られたということもあり、天気には恵まれませんでした。気温は、上は日中の高崎や甲府の28～29度、下は夜中の長野の10度といったところでした。C3津南からC4長野にかけてを日没後に通過しましたが、日中に暑い群馬を通過してきていたので、日が暮れて一気に気温が下がり、12～13度という数字以上に寒く感じました（雨も降ってましたし）。一方で涼しい野辺山から下ってくると甲府はむっとした暑さで数字以上に暑く感じました。標高差が大きいので晴れていても気温の変化は大きいですし、天気が崩れると厳しい条件になることがあるかもしれません。天気や気温などいろいろ想定して参加していただくようよろしくお願いいたします。

主担当で把握している限りでは、6月4日はVCR横浜あおばの600kmが同じようなコースで群馬方面へ向かいます。うっかり前の人についていったら碓氷峠にいたということのないように。また、同週末にはAJ群馬の600kmも開催され、こちらは野辺山あたりでスライドするかも。

二子玉川班のブルベ ではBRM521石廊崎400に続いてゴール受付を有人で行う予定です（詳細は別途ご案内）。ゴール受付でお待ちしています。

以上